

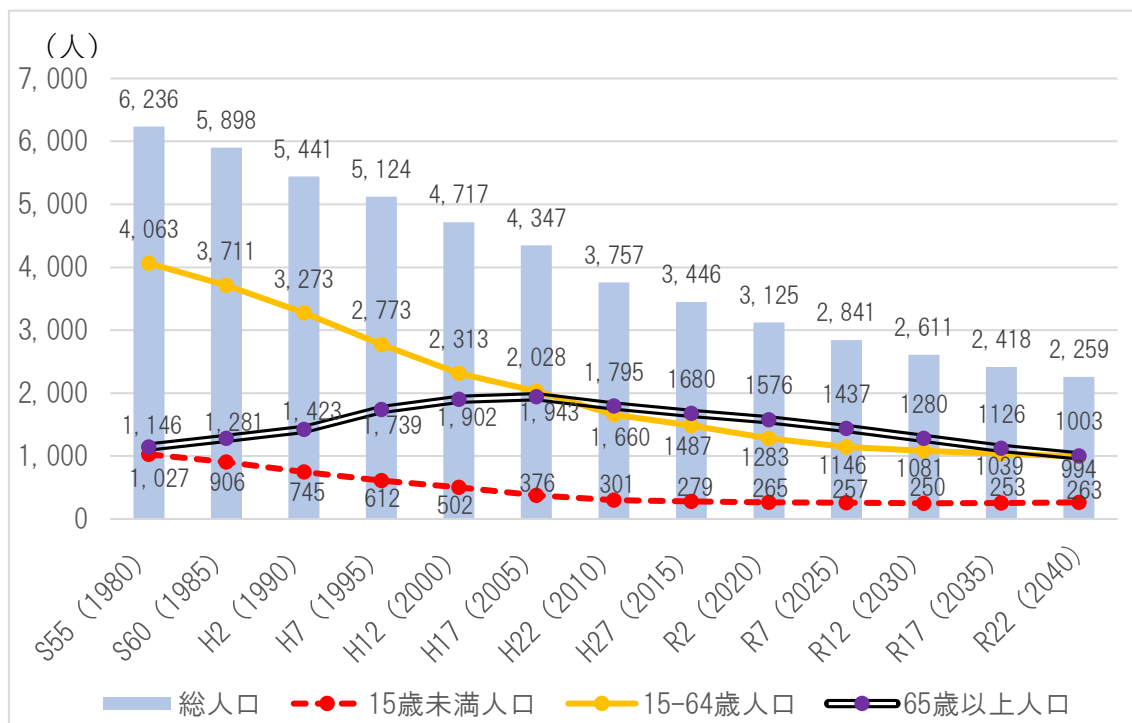
第 2 期
東栄町人口ビジョン（抜粋）
東栄町総合戦略（抜粋）
令和 2 年度～令和 6 年度
（2020 年度～2024 年度）



令和 2 年 3 月

1. 今後の人口展望

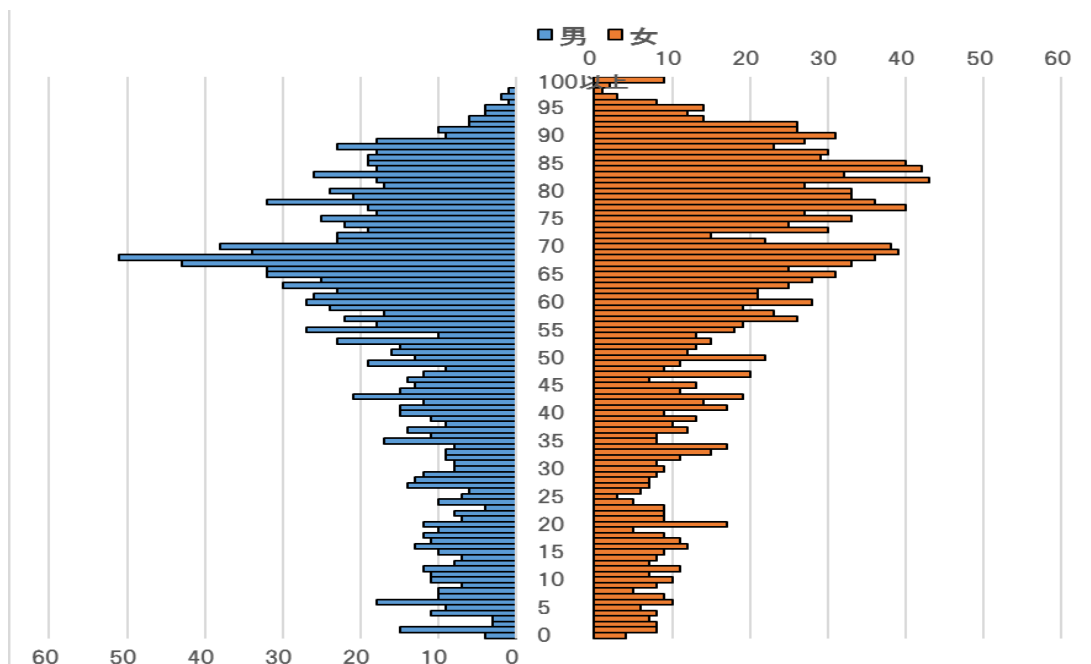
- ・今後も人口減少が続く見通し
- ・65歳以上の高齢者の割合が約5割を推移する見込み



(出典：第2期人口ビジョン 図表9 町内総人口と年齢3区分人口の将来展望)

2. 人口構成比率のゆがみ

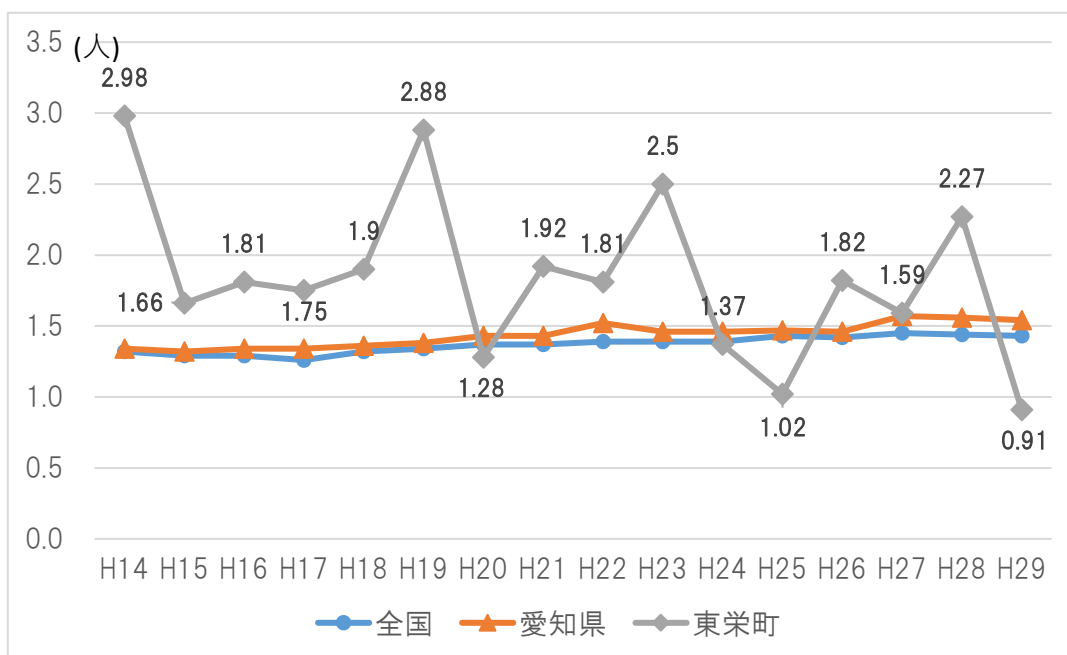
- ・年代ごとに大きな隔りがある



(出典：第2期総合戦略 図表2 現在の人口構成 ※H30年3月住民基本台帳)

3. 合計特殊出生率の減少傾向

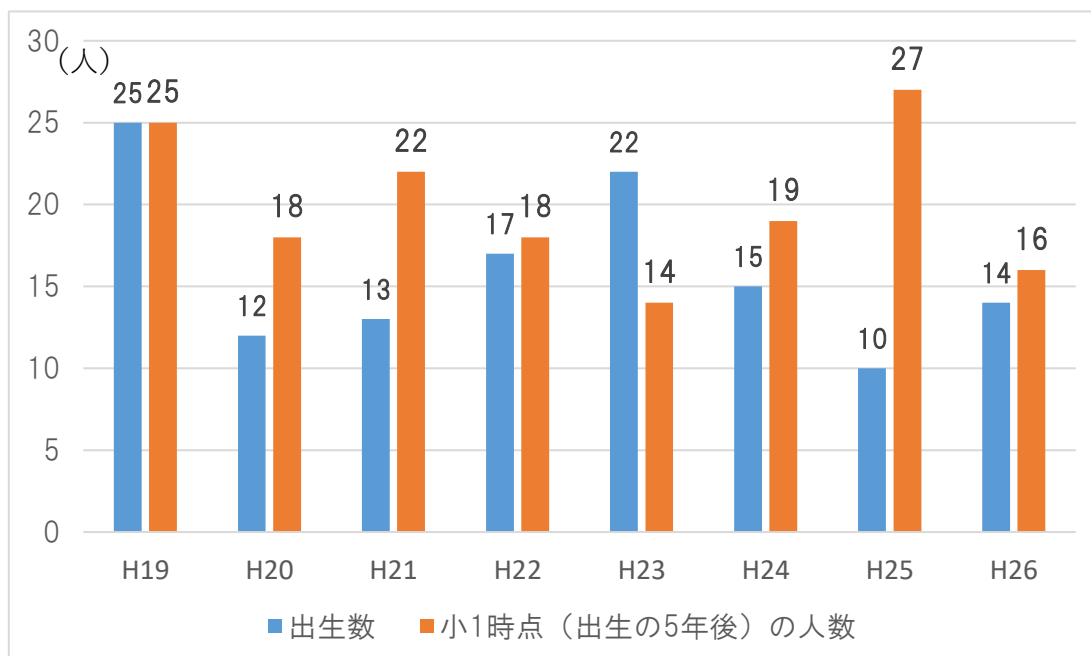
・約5年周期で2.0を超える年があるものの、減少傾向にある。



(出典：第2期人口ビジョン 図表15 国・県・町の合計特殊出生率の推移)

4. 出生数と小学校入学時点の人数比較

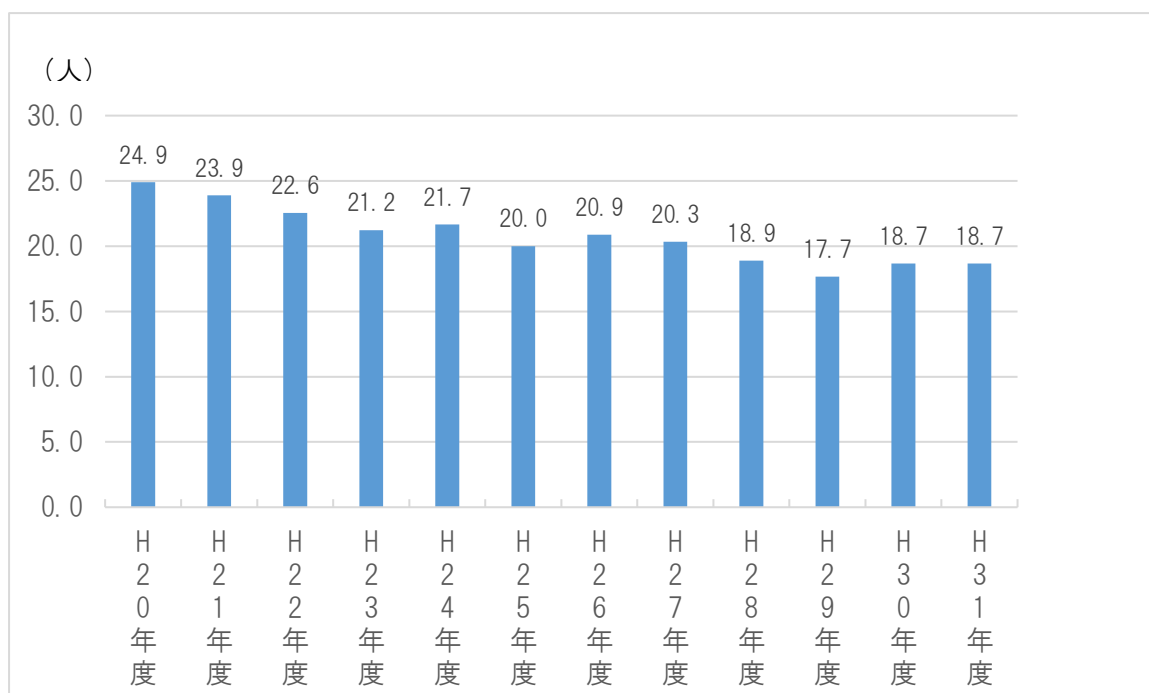
・出生数に比べ、小学校入学時点人数の方が大きい傾向にあり、入学前児童の転入が発生していることがわかる。



(出典：第2期人口ビジョン 図表16 出生数と小学校入学時点の人数比較)

5. 小中学校の一学年の平均児童数の推移

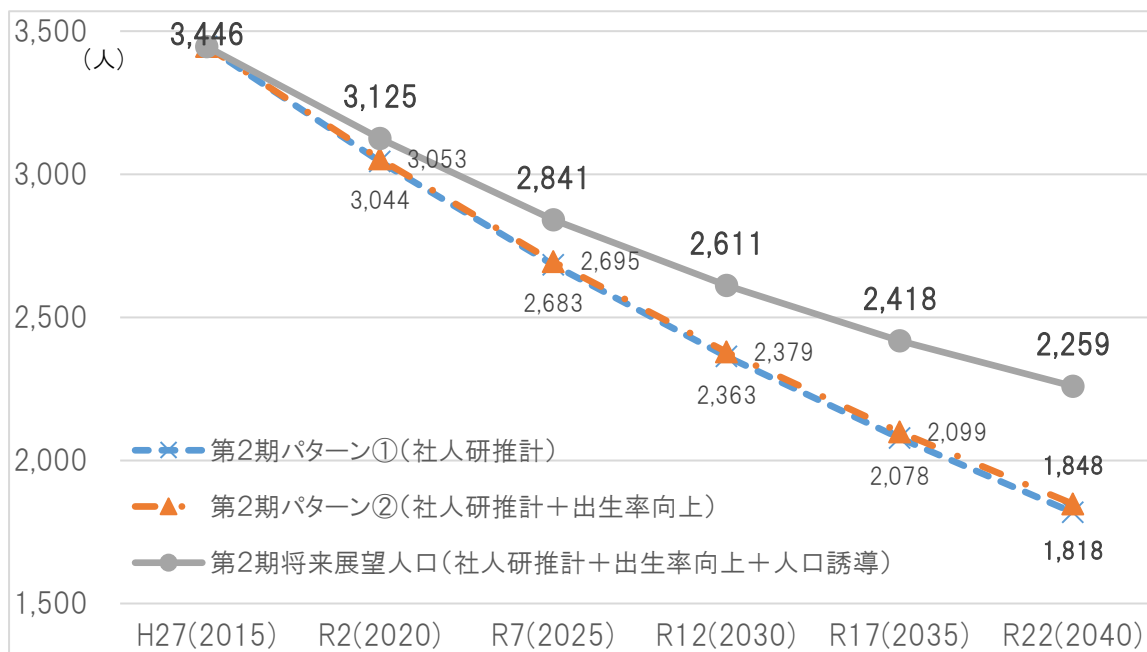
- ・長期的には下落傾向にあるが、近年は横ばいで推移している。



(出典：第2期人口ビジョン 図表17 小中学校の一学年の平均児童数の推移)

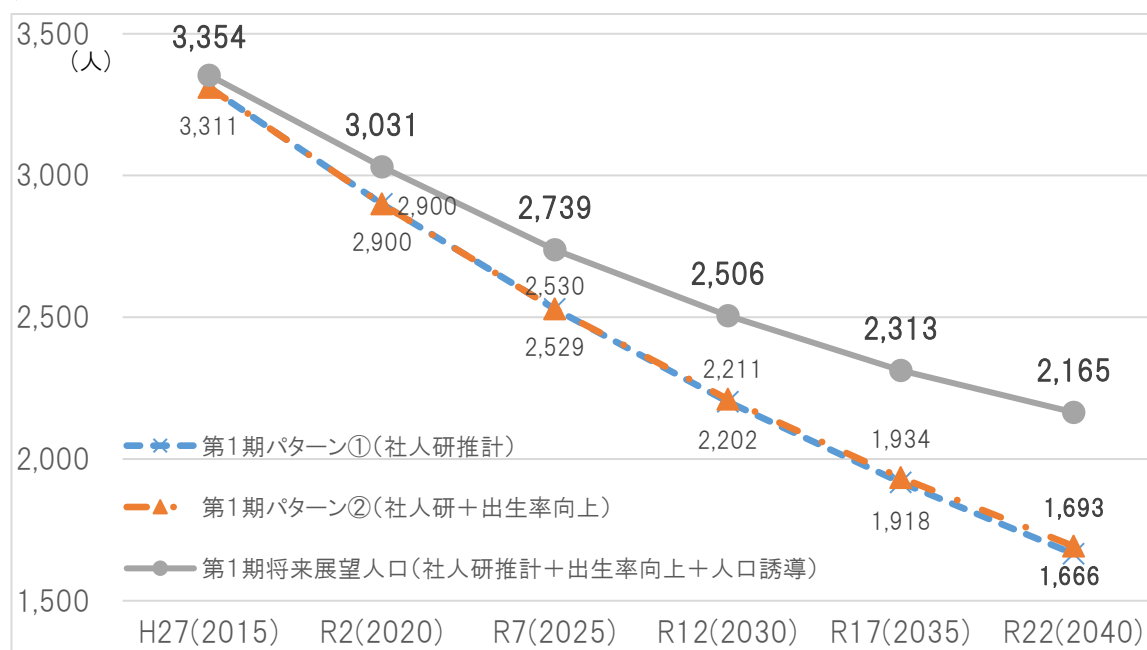
6. 第2期の将来展望人口等の比較

- ・第1期と第2期の国立社会保障・人口問題研究所の推計値のみを比較した場合でも、令和22年（2040年）の人口は1,666人から1,818人に上昇している。
- ・いずれも場合も、合計特殊出生率の向上に取り組むだけでは、推計値からの人口の上昇は令和22年（2040年）で見ても30人程度に留まるが、移住定住施策等による人口誘導によってさらに400人程度人口が上昇する見込みとなっている。



(出典：第2期人口ビジョン 図表7 第2期の将来展望人口等の比較)

7. 第1期の将来展望人口（参考）



(出典：第2期人口ビジョン 図表8 第1期の将来展望人口（参考）)